



トリボン読書会 第13回

日記・手紙・自伝の 面白さに触れてみよう!



萩野 富士夫
一般教育等 特任教授

平成29年1月17日(火)
17:45 ~ 19:15



会場：附属図書館2階

■Message■

研究生生活の“終括”がそろそろ身に迫ってくるなかで、二足の草鞋の片一方の「思想史」の来し方を思い起こすと、その着想の手がかりとなったのは、日記や手紙、そして自伝類でした。卒論で石川啄木の思想をとりあげ、その後「啄木を継ぐ者」を追って、大杉栄らを経て小林多喜二に至ったのも、それぞれの全集に収録された「ローマ字日記」や田口タキ宛のラブレターに触発され、その等身大の人間像に親しみ、影と悩みに共感するものがあったからです。

福沢諭吉や河上肇らはいうまでもなく、さまざまな領域の有名・無名の方々の自伝、あるいは評伝は、こんな人生があったのか、こんな社会があったのかと、狭い視野を広げてくれます。

もちろん、これらは研究上には大いに役立ってくれましたが、それ以上に協道に踏み入って、「へえ～」を連発しながら、気ままに散歩するのと同じ楽しみと自由さを味わわせてくれました。

♪♪

本学学生・教職員・市民の方、
何方様も受講歓迎!! (無料)
自由に入場できます。(事前のお申込み歓迎)

お申込み・問合せ先：学術情報課(図書館)利用者支援係
0134-27-5273 lib-unyo@office.otaru-uc.ac.jp

小樽商科大学附属図書館

